

教職実践演習(小学校)

科目ナンバリング ESS-402

教職 選択 2単位

鎌田 和宏・福島 健介・山田 茂利・
松波 紀幸・坂本 喜代子・銘苅 実土

1. 授業の概要(ねらい)

4年間、教職課程で学んできた教科に関する科目及び教職に関する科目の知見を総合的に結集するとともに、教育実習等で得た学校現場の視点を取り入れながら、ディスカッション、グループワーク等によって、その内容を整理統合する授業となります。

具体的には

- 履修カルテ、実習日誌などを活用した、教員としての自己の資質能力、課題の把握
- 授業観察(参観)や模擬授業等を通じ、教員としての「表現力」や「授業力」、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」等の再確認
- 自己課題の改善:教育実習等の経験を基に、学級経営案を作成し、実際の事例との比較等を通じて、学級担任の役割や実務、他の教職員との協力の在り方等の確認
- 現代的教育課題への対応:学習指導要領、外国語活動・外国語の指導、特別な教科道徳、プログラミング教育、いじめや不登校問題、特別支援教育、事故対応等、今日的な教育課題に関しての役割演技(ロールプレイング)や事例研究などをグループでの演習形式で実施します。また、必要に応じて、学校訪問や現職教員による講習などを授業に取り入れます。

2. 授業の到達目標

- ①4年間の教職課程の集大成として、身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて確認できること。
- ②履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ること。

3. 成績評価の方法および基準

演習形式の授業ですので、演習への参加の様子やそのまゝとしての提出物、グループワーク、ディスカッションでの発言の状況、などを総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

特にテキストの指定はしませんが参考文献等については適宜授業で紹介します。

5. 準備学修の内容

- ①教育実習終了後の履修となりますので、適宜、実習日誌の記載事項や指導教員からのアドバイス・メッセージの読み直しを行うこと。
- ②履修カルテへの記載などを通して教職に就くための自己の資質能力について把握しておくこと。
- ③必要に応じて過去に履修した教科に関する科目・教職に関する科目のノートやレジュメなどを読み返しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

- 教職実践演習は、教職課程の総まとめの授業であり、教職に就くことを希望する学生が受講する科目です。従って、単に履修するだけではなく、自己の資質能力を正しく判断し、必要に応じてそれを伸ばしていこうとする積極的な学修態度を求めます。
- 本講義は全回出席を基本とします。遅刻・欠席は単位認定上の重要な欠格事項となります。提出物の遅滞も同様です。
- 授業は校種・免許種別のクラス編成となります。従って、自由に履修登録をすることはできません。クラス指定と履修登録の方法などは、後期開始までに個別に連絡をしますので、その指示に従って履修登録をしてください。
- 本学の理想とする教師像に向かって積極的に努力をしてください。怠る場合は、単位を認められません。

7. 授業内容

- 【第1回】 11/19【第1回】合同授業 <オリエンテーション><講義 服務>
授業目的・方法等について、服務について(事例問題による演習等)
- 【第2回】 自己課題改善演習
実習日誌・カルテ・学校等から学習指導、生徒指導、学級経営等についての自分の取り組みの成果と課題を整理する。(個人・グループワーク)
- 【第3回】 <学校参観レポートによる演習Ⅰ>
各自の学校訪問レポートの内容を吟味・共有する。(発表→グループワーク)
- 【第4回】 <学校参観レポートによる演習Ⅱ>
学校教育の特性・特色について考察するとともに、自己課題における改善点・目標とする力を明らかにし、不足している知識や技能等を補う方法を検討する。[グループで課題を絞り込み、テーマを決めてポスタープレゼンテーションの準備をする。](グループワーク)
- 【第5回】 <学校参観レポートによる演習Ⅲ>
学校参観から学んだ学校教育の特性・特色について理解し、教師としての姿勢や在り方について考え、自身の小学校教諭としての資質能力を明らかにする。(ポスタープレゼンテーション)
- 【第6回】 合同授業 <講義 学習指導要領>
教育課程と学習指導要領の改訂について
- 【第7回】 合同授業<講義 危機管理と学校安全>
危機管理と学校安全「子どもの健康・安全の確保と事件・事故・災害対応」について
- 【第8回】 合同授業→クラス授業 <演習 教員に求められる力Ⅰ>
教員に求められる力「生徒指導力」「外部との連携・折衝」について(ロールプレイング)
- 【第9回】 <演習 教員に求められる力Ⅱ>
教員に求められる力「生徒指導力」「外部との連携・折衝」について(ロールプレイング)
- 【第10回】 <現代的教育課題対応演習Ⅰ> ※第10回～13回はクラス毎にⅠ～Ⅳの主題すべてを学修、順序は初回配付資料を参照のこと。
Ⅰ 外国語・外国語活動の指導の実践

- 【第11回】 <現代的教育課題対応演習Ⅱ>
Ⅱ ICTの活用とプログラミング教育
- 【第12回】 <現代的教育課題対応演習Ⅲ>
Ⅲ 言語活動と学級経営
- 【第13回】 <現代的教育課題対応演習Ⅳ>
Ⅳ 特別な教科道德の基本的な考え方と指導
- 【第14回】 合同授業 <特別支援教育>
特別な教育的ニーズにある子どもの指導について
- 【第15回】 合同授業 <まとめと試験>